

平成20年12月15日

各 位



会社名 松本建工株式会社

代表者名 代表取締役社長 松本節也

(JASDAQ・コード 1779)

問合せ先 常務取締役経営企画室長 三浦 正範

(TEL. 011-741-2259)

民事再生手続開始の申立てに関するお知らせ

当社は、本日平成20年12月15日開催の取締役会において、民事再生手続開始の申立てを行うことを決議し、札幌地方裁判所に対して申立てを行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

株主様、お取引先様をはじめとする関係者の皆様には、多大なご迷惑をお掛けすることとなり、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。

今後当社は、裁判所および監督委員による指導監督のもと、事業再建に全力を尽くしていく所存でございますので、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 申立てをするに至った経緯および理由

当社は、札幌市を中心とした住宅建築請負および全国のFPグループ工務店向けのウレタン断熱パネル等の製品販売、建築資材の販売を主要な事業とし、高性能で耐久性に優れた住宅の供給を続けてまいりました。

また、平成15年より札幌市南あいの里土地区画整理組合からの業務委託を受け、継続して宅地の造成、事業資金の融資、宅地の販売を行ってまいりました。

しかし、建築、不動産業界における昨今の金融不安、消費者の買い控え、製造原価のコストアップなど大変厳しい経営環境のなかで、当社は、生産工場のコスト削減、人件費を含めた経費の圧縮等により懸命に経営努力を続けてまいりましたが、平成20年3月期決算において、上記要因に加え、会計監査の厳格化による減損処理、引当金の追加計上等により1,701百万円の当期純損失を計上いたしました。

また同期決算において、多額の欠損金発生を理由として、継続企業の前提に重要な疑義が存在している旨の注記記載を要請されました。

その後、取引先からの回収要請が厳しくなり、南あいの里事業における土地販売が低調に推移する中、資金繰りを改善すべく金融機関に対し自主再建による資金支援を要請する等の努力を尽くしてまいりましたが成果は上がりませんでした。

これらのことから、これ以上現状を放置すれば事業継続に著しく支障をきたすこととなるため、やむを得ず民事再生手続による再建を図ることを決断するに至りました。

2. 負債総額

13,489百万円（平成20年9月30日現在）

3. 今後の見通し

今後当社は、裁判所および監督委員による指導監督のもと、金融機関様、お取引先様をはじめとする関係各位のご協力を賜りながら、事業再生に向けて全力を尽くしていく所存でございます。

関係者の皆様におかれましては、多大なご迷惑をお掛けいたしましたことを重ねてお詫び申し上げますとともに、今後の当社再建に向けご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4. 株券上場廃止基準第4条1項に規定する再建計画等の審査に係わる申請の有無

株券上場廃止基準第4条1項に規定する再建計画等の審査に係わる申請は行わない予定です。

(ご参考)

1. 申立の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 申立日 | 平成20年12月15日 |
| (2) 申立裁判所 | 札幌地方裁判所 |
| (3) 事件番号 | 平成20年（再）第24号 |
| (4) 事件名 | 民事再生手続開始申立事件 |
| (5) 申立代理人 | 札幌市中央区大通西10丁目4番16号 ダンロップSKビル7階
弁護士法人ほくと総合法律事務所
弁護士 窪田もとむ
同 津田秀太郎 |

東京都千代田区九段北1丁目11番4号 新光ビル4階
弁護士法人ほくと総合法律事務所
弁護士 中原 健夫
同 関 秀忠

東京都港区虎ノ門1丁目2番10号 桜田通ビル9階
法律特許事務所イオタ
弁護士 石毛 和夫
同 清水 琢磨

2. 会社の概況

- | | |
|-------------|--------------------|
| (1) 商号 | 松本建工株式会社 |
| (2) 本店所在地 | 札幌市東区北42条東15丁目1番1号 |
| (3) 設立年月日 | 昭和49年3月27日 |
| (4) 代表者 | 松本 節也 |
| (5) 主な事業の内容 | 住宅建築請負事業、建築資材販売事業 |
| (6) 資本の額 | 1,063,542,856円 |

(7) 株式の状況

発行する株式の種類 普通株式
発行済株式総数 7,930,383株

(8) 株主の状況 (平成20年9月30日現在)

株主総数 426名
大株主の状況 松本 節也 28.15%
有限会社メトリックス 22.09%
松本美枝子 8.93%

(9) 従業員の状況 連結357名 個別301名 (平成20年9月30日現在)

(10) 負債総額 13,489百万円(平成20年9月30日現在)

(11) 最近の業績推移 (単位:百万円)

(連結)

	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期
売上高	12,701	13,036	13,172	13,147	12,692
売上総利益	3,551	3,623	3,591	3,277	2,844
営業利益	579	553	149	425	△278
経常利益	457	527	213	426	△518
当期純利益	153	250	145	131	△1,007

(個別)

	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期
売上高	9,919	9,705	9,240	11,519	10,574
売上総利益	2,738	2,657	2,493	2,868	2,411
営業利益	452	425	246	517	97
経常利益	387	450	455	593	△94
当期純利益	126	204	439	317	△1,701

以上